

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2021年5月30日



## 生存権を守る集会に参加・勉強

5月22日、「生活保護費の引き下げに反対し、生存権を守る」学習集会が開かれ、井上議員も参加し勉強してきました。全国各地で取り組まれている、生活保護費値下げ撤回を求める裁判の経過などについての講演もあり、大阪では勝訴、京都でも近々、判決の予定とのこと。市議会報告の発言もさせて頂きました。

25日、市長が「行財政改革計画(案)」を公表しました。「収入以上に市民にサービスを提供、その差額を貯金の取崩しで賄ってきしたが、これ以上の取崩しはムリ。今後はサービスを削っていく」という代物です。井上議員の見解を紹介します。

①今日の地方自治体の財政危機については、国の、大企業減税政策への批判や自治体財政への責任抜きに語れない、②市内高速道路など市の過去の大型事業への反省が皆無、③富裕層からの市民税増収を図るといった累進性への発想が欠落、等々

## 鹿を追う者、山を見ず 市長が「行財政改革計画案」を公表 本質的視点を欠いたまま、もっぱら市民へのしわ寄せへ

(木を見て森を見ず)

へへの批判や自治体財政への責任抜きに語れない、②市内高速道路など市の過去の大型事業への反省が皆無、③富裕層からの市民税増収を図るといった累進性への発想が欠落、等々

健康増進センター(ハルスピア)、市営住宅家賃減免制度、などが見直しの対象としてやり玉に挙がっています。今後、補強の上、市民意見の募集とのことです(改めて呼びかけます)。みんなで声を挙げていきましょう。

## 市長の答弁より

### 市議会各党代表質問

5月21日、市議会各党代表質問。市長の答弁の一部を紹介します。

●市長答弁 ワクチン

接種については、体制を補強し、7月末までに65歳以上の希望者に完了させる。検査は、少しでも感染の可能性の

## 当面のコロナ対策と日本共産党の要求

●は現状、◎は党の政策・要求

- 65歳以上で、未だ予約が取れていない方は、5月下旬から、予約受付が再開の予定。この場合、実施は6月中旬以降になる予定です。
- ◎ワクチン集団接種会場を増やすこと。
- ◎医療機関へしわ寄せすることなくもっと支援を。
- ◎見届けを含め、区単位で市がもっと責任と役割を果たすこと。
- ◎感染拡大防止の為、集団的・予防的な検査を拡大すること。
- 休業支援金や雇用調整助成金など、労働者・使用者向けの制度あり。
- 再起支援補助金はコロナ対策費用を補助。
- 一時支援金は、5月末締め切りですが、延長申請が可能です。
- ◎持続化給付金、庶民向けの10万円給付金を再度。

ある方を広く捉えて実施していく。  
 ●中小企業の事業継続や雇用維持をはかる為、資金繰り支援や再起支援補助金、専門家による相談体制強化、等に取り組んでいる(井上議員の感想)未だ未だ不十分。商工会議所等任せが多く、市自身がもっと前に出て現場の声を聞くべし)  
 ●北陸新幹線や、堀川通り機能強化(堀川油小路地下トンネル)は、京都の発展の為、極めて重要な事業。工費は国に求めたい(「財国に求めたい」は本当なのではないか?)  
 ●「国に求めたい」は本当なのではないか?見取りも裏付き、後で高い請求書!

## 6月1日から市営住宅の募集・応募

今回は、単身者(高齢者、障害者、生活保護受給、等)の申込も可能です。抽選は7月、実際の入居は8月頃の予定。申込は6月10日、中京郵便局必着。申込用紙は区役所又は井上議員迄。詳細・書き方等、同議員迄お気軽に。